

ライセンス・サーバーの設定 V2.0

技術統括部

Libero SoC v12.3

2020年4月

サーバーPCの設定



■ license.dat を確認

• 例:HOSTNAME:HOST-WIN7-64

Port number: 1702

DAEMON actImgrd、mgcld、VENDOR snpsImd の格納場所:

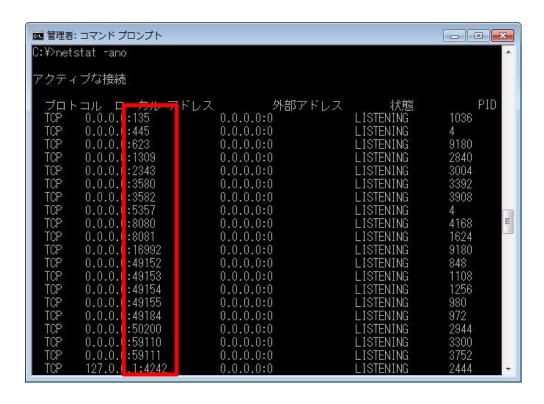
C:\forall Microsemi\text{\tince}\text{\texi}\text{\text{\text{\text{\text{\text{\texi}\text{\text{\text{\texit{\texi}\text{\text{\texi}\tint{\tex{\texi}\text{\texi}\tint{\text{\texi{\texi{\texi{\texi{\texi{\ter

SERVER HOST-WIN7-64 00ff0066ff11 1702

DAEMON actImgrd C:\footnote{\text{Microsemi\footnote{\text{Windows_Licensing_Daemon/actImgrd}}} DAEMON mgcld C:\footnote{\text{Microsemi\footnote{\text{Windows_Licensing_Daemon/mgcld}}} VENDOR snpslmd C:\footnote{\text{Microsemi\footnote{\text{Windows_Licensing_Daemon/snpslmd}}} \]

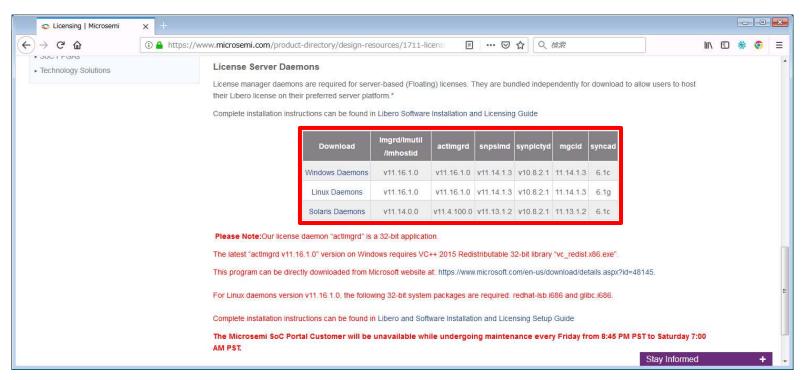


- port number の確認
- コマンド プロンプトを起動
- "netstat -ano" を入力Enter を押下
- ローカルアドレスの:以降の空番号を使用





- DAEMONを最新版にバージョンアップ
- Microsemi社WEBのLicensing => Download ページ
- https://www.microsemi.com/product-directory/design-resources/1711-licensing#downloads
- 各OSに対応したDaemonをダウロードし更新

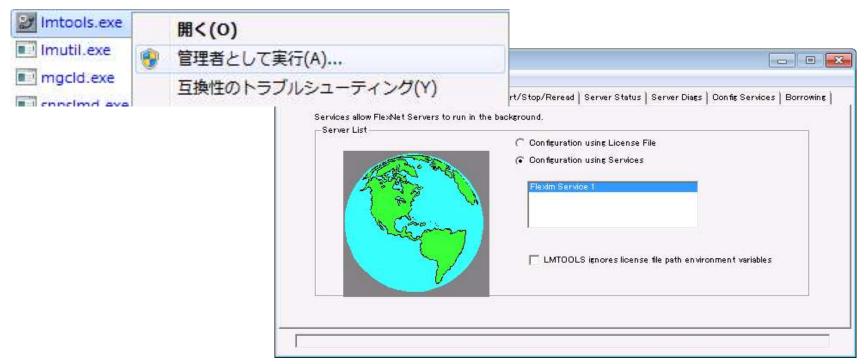




- サーバーPCでの設定
- LMTOOLSの起動
- インストール・フォルダ¥ Microsemi¥Libero_SoC_v11.8¥ModelsimPro¥win32acoem

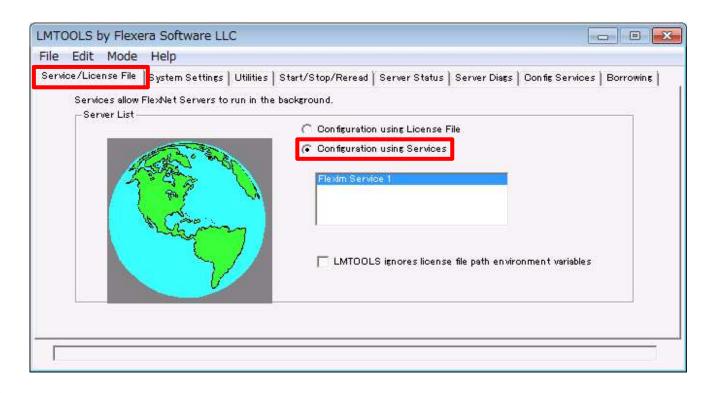
例:C:¥Microsemi¥Libero_SoC_v11.8¥ModelsimPro¥win32acoem

■ "Imtools.exe" をマウス右クリック => "管理者として実行…"を選択



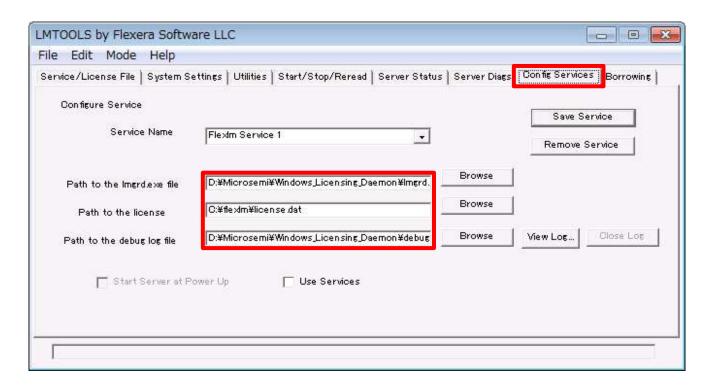


- "Service/License File"タブ
- "Configuration using Services"を選択



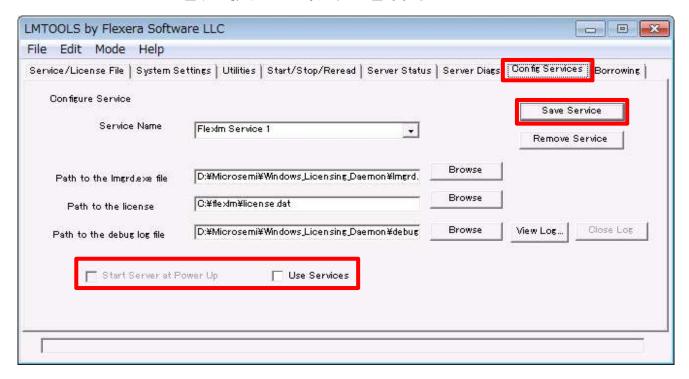


- "Config Services"タブ
- "Path to the Imgrd.exe file" にImgrd.exeの格納場所を指定
- "Path to the license" にlicense.datの格納場所を指定
- "Path to the debug log file" にdebug.logの保存先を指定



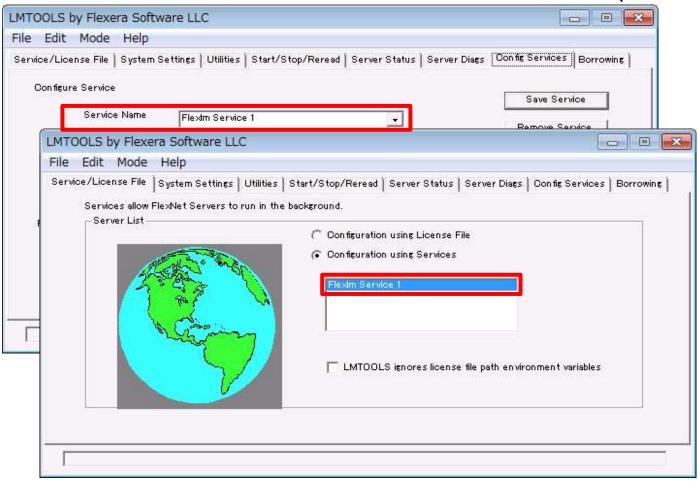


- "Config Services"タブ
- "Use Services" をチェック
- "Start Server at Power UP" をチェック
 - これらの設定でサーバーPCの再起動時でもライセンスを供給可能
- "Save Service"ボタンを選択して設定を保存



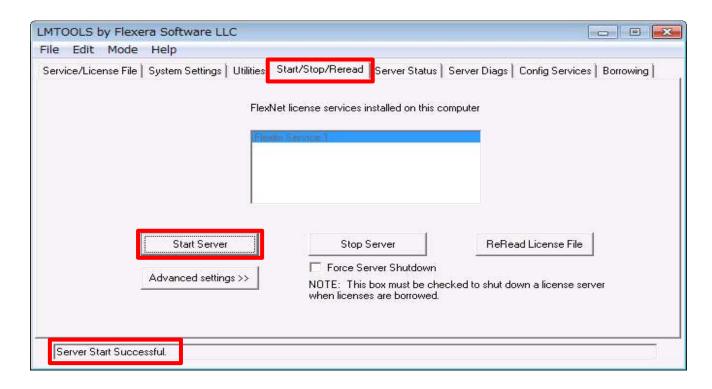


- "Configuration using Services"の確認
- 前頁"Service Name"の保存名"FlexIm Service 1"(デフォルト)



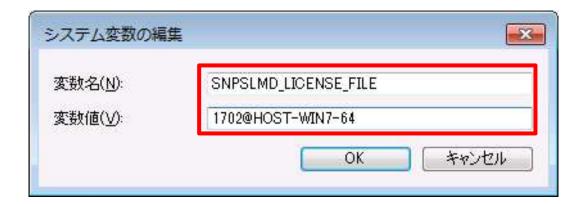


- "Start/Stop/Reread"タブ
- "Start Server"を選択
- 「Server Start Successful.」を確認





- ■環境変数を設定
- 変数名(N): SNPSLMD_LICENSE_FILE
- 変数値(V): 1702@HOST-WIN7-64
- 注)変数値には"ポート@ホスト名"のみ記載 "license.dat;1702@HOST-WIN7-64"等は不可
- 注)変数名:LM_LICENSE_FILEの設定は不要





- "システム環境変数(S)"の確認
- "**のユーザー環境変数(U)"でも可





クライアントPCの設定

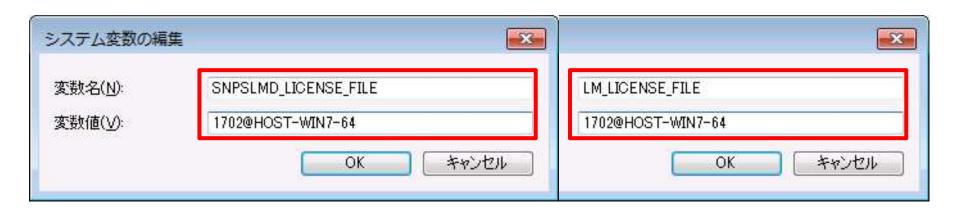


クライアント設定

- クライアントPCの環境変数を設定
- 変数名(N): SNPSLMD_LICENSE_FILE
- 変数値(V): 1702@HOST-WIN7-64
- 注)変数値には"ポート@ホスト名"のみ記載 "license.dat;1702@HOST-WIN7-64" 等は不可

または

- 変数名(N): LM_LICENSE_FILE
- 変数値(V): 1702@HOST-WIN7-64





クライアント設定

- "システム環境変数(S)"の確認
- "**のユーザー環境変数(U)"でも可





履歴

■改版

リビジョン	日付	概要
V1	2018年7月	新規作成
V1.1	2018年10月	サーバーPC再起動時のライセンス供給設定(P5)を追記
V1.2	2018年12月	デザイン変更
V1.3	2019年2月	内容修正
V1.4	2019年3月	内容修正
V2.0	2020年4月	Libero SoC v12.3 に対応

弊社より資料を入手されたお客様におかれましては、下記の使用上の注意を一読いただいた上でご使用ください。

- 1. 本資料は非売品です。許可なく転売することや無断複製することを禁じます。
- 2. 本資料は予告なく変更することがあります。
- 3. 本資料の作成には万全を期していますが、万一ご不明な点や誤り、記載漏れなどお気づきの点がありましたら、弊社までご一報いただければ幸いです。
- 4. 本資料で取り扱っている回路、技術、プログラムに関して運用した結果の影響については、責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 5. 本資料は製品を利用する際の補助的な資料です。製品をご使用になる場合は、英語版の資料もあわせてご利用ください。

